Gemini APIを準備する

このアプリが使う生成APIはGemini Developer APIです。

Google AI StudioへGoogleアカウントでログインし、APIキーを作成します。対象のGoogle Cloudプロジェクトを選択または作成し、APIの利用条件・請求設定・利用可能モデルを確認してください。OpenAIキーの入力欄はありません。

Google AIの月額プランと、Developer APIの請求・利用上限は別です。API側の無料枠や有料枠、プロジェクトの残高・割当を確認します。全機能が無料枠で使えるとは限りません。

APIキーをチャットや資料に貼り付けず、専用入力欄にだけ入力します。キーが漏れた場合はGoogle側で失効・再発行してください。キー制限を使う場合は、このPC上のサーバーから行うAPI接続を許可する設定にします。

Google AI StudioのAPIキー →

APIキーの公式案内 →

APIの課金設定 →

Gemini APIの料金 →

アプリへキーを登録する

Windowsでバッチ起動し、ローカルのアプリ画面から設定します。

start_narration_studio.batを起動し、READY表示後にブラウザーで127.0.0.1:6181を開きます。公開サイトは導入案内であり、キーを設定して動画を作る画面ではありません。

上部の「Gemini APIキーを登録」を開き、キーを入力して「接続用に設定」を押します。「設定済み」はメモリへ登録した状態で、Googleの認証成功や全モデルの利用権限を保証しません。

「API接続を確認（生成なし）」はモデルの取得で接続を調べます。素材・台本を送信せず、新しいコンテンツを生成しません。ただし他の音声・画像・BGMモデルまで成功を保証するものではありません。

任意の「最小構成で生成接続を確認（API 1回）」は短い固定文をGoogleへ送信します。素材や台本は送りませんがAPI料金が発生する場合があります。通常制作の必須操作ではありません。

キーはサーバー起動中のメモリだけに保持します。ブラウザーを再読み込みしても、動いているサーバーのキーは消えません。「キーを解除」またはサーバー終了・再起動で破棄します。

どの処理が、どのモデルを使うか

モデル名はv1.3.5の実装に対応します。

処理	実装モデル
台本・読み・演出・AIデザイン	gemini-3.5-flash
日本語ナレーション	gemini-3.8-flash-tts / gemini-3.8-flash-lite-tts（画面で選択）
画像の作成・作り直し	gemini-3.1-flash-image
BGM作成	lyria-3.5
任意の音声内容検査	gemini-3.8-flash

キーは同じでも、モデルごとに利用可能な条件・割当・料金が異なる場合があります。接続確認に成功しても、画像やTTSが利用不可なら該当APIの権限と提供条件を確認してください。

手元の台本の入力・編集、画像の手動差し替え、同梱サンプル再生、準備済み素材のローカル動画描画は、新しい生成コンテンツをAPIへ依頼する操作ではありません。

Googleへ送る内容と料金を確認する

素材追加だけではGoogleへ送信しません。実行する工程ごとに送信内容が変わります。

台本・画像作成では指示・台本と、選択した参考本文・公開URL・ファイルの内容をGoogleへ送ります。URL資料を読み取るため、公開URL先への取得も発生します。機密情報や第三者の個人情報を含む素材は送信前に確認してください。

音声生成は読み上げ文・声や話し方の設定、画像生成は画像指示と選んだ参照画像、BGM生成は動画タイトル・字幕の流れ・尺・音楽指示を使います。音声内容検査を実行すると、対象音声と照合する文章を送ります。

APIの処理量確認（トークン数確認）も、対象リクエストの内容をGoogleへ送る操作です。「生成なし」と「外部へ何も送らない」は同じではありません。画面に表示する同意と送信範囲を確認します。

AI台本、画像、ナレーション、BGM、任意の検査にはそれぞれAPI利用料が発生する場合があります。やり直しや生成内容変更も影響します。完成した動画の長さだけでは固定料金を計算できません。失敗時の自動再試行はありません。

接続できないとき・制作を終えるとき

キー、モデル、割当、ネットワーク、ローカル処理を分けて確認します。

キー未登録なら上部で設定します。キー無効・期限切れ・キー制限のエラーはGoogle側のキーとプロジェクトを確認します。権限不足やモデル未提供は、該当モデルの利用条件を確認してください。

残高・割当・レート制限では、Google側の請求と利用状況を確認してから再実行します。通信失敗・タイムアウトは接続環境を確認します。原因を直す前に何度も生成しないでください。

AI通信・動画処理中は画面右上に固定した赤い「緊急停止」で実行を中止できます。待機中・停止済みは無効です。処理中の停止は右上の1つに統一し、各工程の一時退避ボタンは隠します。台本・素材・音声は保持しますが、API提供元での処理・課金停止は保証しません。待機中の「制作画面を一時退避」は制作画面を一時退避する別操作です。キーは保存ファイルへ含めず、サーバー再起動後に再入力します。 初期のAPI未設定・空の制作では表示せず、キー設定後・既存のローカル制作・処理中に表示します。

API音声検査は人の視聴を置き換えません。最終動画の台詞・読み・音量・字幕・画像を再生して確認してください。既存の操作冊子にダウンロード、制作、再開と保存をまとめています。

操作マニュアル（PDF） →

Gemini APIの制限・割当 →